

「第4回船橋市立金杉台中学校・御滝中学校統合準備会」会議録

- 1 開催日時 令和3年6月11日(金)午前10時00分～11時05分
- 2 開催場所 金杉台中学校3階視聴覚室
- 3 出席者 18人
金杉台中学校 校長、教務主任、PTA2人
御滝中学校 校長、教務主任、PTA
金杉台小学校 校長、教務主任、PTA2人
教育委員会管理部 教育総務課長、施設課長
教育委員会学校教育部 学務課長、指導課長、保健体育課長
教育委員会総合教育センター 所長、教育支援室長
(事務局5人)
管理部長、教育総務課課長補佐、企画係員2人
学務課学事係長

【事務局(教育総務課課長補佐)】

事務局から事務連絡です。まず、本日の会議ですが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、感染拡大予防ガイドラインを定め、お手元のチェックリストのとおり、皆様にもご協力をいただきながら、会議を進めさせていただきます。このチェックリストを提出する必要はございませんので、内容をご確認いただければと思います。入室・退室時の手指の消毒、マスクの着用、咳エチケット、体調確認などにご協力をいただくとともに、こちらの会場内では、密を避けるための換気、マイクの消毒等適宜行いながら、進めさせていただきます。発言の際には、マスクを着用したまままでお願いいたします。また、施設利用者カードにご記入いただき、ご提出をお願いいたします。万一、発症者等が出た場合には、出席された皆様の施設利用者カードを保健所等へ提出する場合がございますことをご承知おきください。

続いて、事前に配付いたしました資料の確認をさせていただきます。不足がございましたら、お申しつけください。まず、「次第」と書かれた資料です。続いて、資料1から4までを配付しております。資料の右上に資料番号を記載しておりますので、そちらを見ながらご確認ください。資料1-1、「船橋市立金杉台中学校・御滝中学校統合準備会設置要綱」、1枚です。資料1-2、「船橋市立金杉台中学校・御滝中学校統合準備会名簿」、1枚です。昨年度の第1回の統合準備会でもお配りしている資料もありますが、年度が改まり、メンバーが変わりましたので、お配りいたしました。資料2、「令和3年度実施『進学先に関するアンケート』集計結果報告」、1冊です。資料3、「令和3年度の統合準備会の検討事項」、1枚です。資料4は、「統合方針に基づく統合までのスケジュール」、A3、1枚です。最後に、席次表でございます。不足はございませんでしょうか。

本日の出席者についてです。会員19人中、18人の出席をいただいています。御滝中学校のPTA(1名)の方から欠席のご連絡をいただいております。なお、本来でしたら年度が改まっての初回ですので、皆様から一言ずつご挨拶と自己紹介をしていただきたいところですが、感染拡大予防ガイドラインに基づき、可能な限り会議時間を短縮できるよう、これを省略させていただき、お手元の席次表に替えさせていただきます。ご了承いただければと思います。

本日の検討内容の確認のため、会議録を事務局で作成します。このため、本日の統合準備会の議事を録音させていただきます。なお、作成した会議録は、そのままの内容での公表は現時点では予定していませんが、公表が必要となった場合には、個人情報等に配慮した形で行う場合がありますことをご承知おきください。事務局からは以上となります。

【教育総務課長】

皆様、おはようございます。本日はお暑い中、また、お忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。まず、会議に先立ちまして、事務局を所管する、管理部長から一言ご挨拶申し上げます。

【管理部長】

前任から引き続き、統合準備会を担当することになりましたのでよろしくお願い申し上げます。金杉台中学校の今後のあり方に関しましては、平成29年度から検討を始めて昨年、令和2年3月に、令和5年4月に御滝中学校との統合を教育委員会の方針として決定しております。統合に向けた諸課題に対応していくために学校の先生方、そして、関係する保護者の方々と話し合い、課題を整理していきたいと考え、昨年度から学校の皆様、保護者の方々にお集まりいただきまして、統合までの間の入学への配慮といった対応策や、学校との関係で調整すべきことを検討してまいりました。今年度に入りまして統合まで2年を切りましたので、時間も限られてきております。引き続き課題に対処し、しっかり準備を進めスムーズな統合につながれますように、今年度も皆様のご協力をいただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

【教育総務課長】

それでは、これから、第4回船橋市立金杉台中学校・御滝中学校統合準備会を開催いたします。統合準備会設置要綱第5条第1項の規定に基づき、本来であれば統合準備会会長が議長となるところですが、昨年度、会長を務めていただいた金杉台中学校の校長先生が退職されました。設置要綱上、会長は、会員の互選により定めることとなっておりますので、次第1の会長の選出までは私にて議事を進行させていただきます。

統合準備会設置要綱第3条第3項の規定により、会長は、会員の互選で定めることとなっております。また同第7項の規定では、会員が人事異動等によりその職を離れ

た場合には、後任の者をもって充てるということとなっております。

金杉台中学校の統合という大きな環境変化を受ける在校生に対して、子供たちの様子や要望を把握しやすい、金杉台中学校の校長先生が、会長に相応しいと思うのですが、皆様、いかがでしょうか。

(会員、特に異議なし)

校長先生、いかがでしょうか。

【金杉台中学校校長】

はい。お引き受けいたします。

【教育総務課長】

ありがとうございます。続きまして、副会長について確認させていただきます。統合準備会設置要綱第3条第5項の規定では、副会長は会長が指名することとなっております。副会長は昨年度、御滝中学校の校長先生に務めていただいております。会長、いかがでしょうか。

【金杉台中学校校長】

統合先である御滝中学校の協力が必要ですので、御滝中学校の校長先生を指名したいと思います。

【教育総務課長】

校長先生、いかがでしょうか。

【御滝中学校校長】

はい。お引き受けいたします。

【教育総務課長】

ありがとうございます。それでは、ここからは、会長に議事進行をお願いしたいと思います。よろしくをお願いします。

【金杉台中学校校長】

それでは次第に沿って進めていきます。次第の「2.検討事項(1)令和3年度実施 進学先に関するアンケート結果について」に入ります。事務局から説明をお願いします。

【教育総務課長】

教育総務課から、ご説明させていただきます。資料はお手元の資料2「令和3年度実施『進学先に関するアンケート』集計結果報告」、こちらのご説明です。前回の書面会議により行いました統合準備会の資料にてご説明いたしましたが、進学先に関する

アンケートを実施し、集計結果報告がまとまりましたので、ご説明いたします。

資料2の3ページをご覧ください。目的にございますとおり、アンケートは、現時点での進学先や統合への不安等を把握し、統合に向けた準備の検討資料とすることを目的としております。調査方法については、対象者は、金杉台中学校の指定学区及び選択地域の小学校6年生の保護者を対象とし、各学校を通じて配付・回収いたしました。調査期間は5月13日から5月20日でございます。

4ページをご覧ください。「4.アンケート回収結果」です。対象者166人(X)に対し、154人(N)から回答があり、回答率は93%でした。

続いて、5ページ、「5.集計概要」のご説明をいたします。

アンケートの集計結果は10ページ以降の「6.集計結果」にまとめておりますが、参考のために男女別等クロス集計による分析が重要となるため、5ページの集計概要としてまとめました。まず、進学先の中学校に関する男女別の集計概要です。令和4年度に中学校へ入学する6年生の現時点での進学先は、金杉台中学校へ進学を希望している人数は、男子2人、性別未回答1人の合計3人でした。また、「わからない・検討中」など現時点での未定者数は、男子7人、女子1人の合計8人です。

次に6ページをご覧ください。こちらはお住いの学区の区域別の集計で、金杉台中学校へ進学を希望している3人は、金杉台中学校の指定学区の方のご希望であります。

次の7ページですが、こちらは、アンケート対象者全体ではなく、金杉台小学校に在籍する48人の集計概要です。金杉台中学校へ進学を希望している3人は全て金杉台小学校に在籍している方で、先にお話しした「わからない・検討中」など現時点での未定の方が男子5人おります。また、表の下の最後に記載のとおり、金杉台小学校の4人からは、アンケートの提出がなかったため、希望する進学先を把握できておりません。

続きまして、9ページは進学先の中学校とその進学先を選んだ理由についてです。「以前から希望していた」、「転校したくない」という理由の方が多い一方、「統合に不安があり決めかねている」という方が4人おり、その中には、進学先についても「わからない、検討中」としている方が3人となっております。

10ページから14ページまでは、設問ごとの集計結果と選択肢によって理由等の自由記述を記載しています。その中で、14ページをご覧ください。Q5の統合や統合に伴う転校についての不安なことなどの自由記述を掲載しております。自由記述に関しては、類似するご意見の例などに対しまして、教育委員会の各所属で検討したこと、昨年度までに学校と確認したことなどを、教育委員会を代表してご説明いたします。

まず、御滝中学校の生徒数に関して、「多人数の御滝中学校に行かせるのは不安である」、「統合によって更に生徒数が増え、先生の目が行き届かなくなるのではないかな不安」というようなご意見がございます。

こちらに対しましては、小学校と比べ、学級数・生徒数ともに多い御滝中学校への統合に対しては不安を感じてしまうことはあると思います。御滝中学校は生徒の人数

も多いですが、その分先生方も多いです。担任の先生だけでなく学校全体で見守り体制をつくり、また、多くの先生方で多くの視点で子供たちに関わっていくことにつきまして、御滝中学校と教育委員会で確認をさせていただいております。

次に、「コロナの問題がある中、統合に不安。」「新型コロナウイルス感染症が更にまん延すると思われる時期に生徒数・学級数の多い御滝中学校で子供の命の安全が守れるか不安。統合後の金杉台中学校を分校的に使うなどの検討をしていない船橋市の考え方に不満。」という新型コロナウイルス感染症に対するご意見がありました。

こちらにつきましては、本市においては船橋市保健所や感染症専門の方から助言をいただき、「新型コロナウイルス感染症学校生活における感染症対策マニュアル」を策定し、必要に応じて改訂を加えながら、各学校で児童生徒の感染予防対策に今後とも努めていること、また、子供たちの教育環境のあり方を検討する中で、金杉台中学校の跡地利用について、新型コロナウイルス感染症への感染リスクを回避することを目的とした「分校・分教室」の設置は考えていないということを教育委員会にて確認しております。

次に、三つ目として、「少人数制のほうが希望でも、行政都合の転校で途中から大人数の学校に行ってなじめるか心配。」という統合時の転校への不安に関するご意見がございました。

こちらにつきましては、統合の際には、受け入れることとなる御滝中学校の生徒に学校のほうから丁寧に話をしていくこと。また、金杉台中学校の生徒には、できるだけ不安にさせないようなサポートをしていくことや、少しでも早く学校生活に慣れてもらえるよう、ガイダンスや交流活動を充実させ、学校全体で、支援していくことなど、様々な不安を解消できるように学習面・生活面等において全力でサポートしていくことを、金杉台中学校・御滝中学校と教育委員会において確認しております。

最後に、このアンケートに関して、「統合が決定しているのにアンケートを取る意味がわからない。」「反対意見があろうが、統合は決まっている。誰のためのアンケートでしょうか。」というご意見がありました。

こちらにつきましては、このアンケートは、統合までの間、金杉台中学校へ入学し、統合時に御滝中学校に移ることになる生徒が金杉台中学校での学校生活をスムーズに送れるように、その対応や準備を行うことを目的としているものでございます。

進学先に関するアンケートの集計結果については以上でございますが、6年生の児童・保護者の皆様は、中学校の進学先についてご家庭でも十分に話し合いができますように、今回のアンケート結果につきましては、アンケート対象者全員の方に送付を予定しています。また、ホームページでも公表してまいります。

新入学に向けての今後の流れとしましては、金杉台中学校の通学区域内と金杉台中学校を選択することができる地域にお住いの6年生を対象に、10月中旬に進学先の調査を行い、再度、入学希望者を把握してまいります。

金杉台中学校への進学を希望している3人の方や、まだ進学先を決めかねている方、そしてアンケート未提出者の方も含め、金杉台中学校への入学に不安や負担を軽減で

きるようにすること、また、どのような場合でも子供たちの教育に支障がないよう、教育委員会として取り組んでいきますが、統合準備会の学校、PTAの皆様にもご協力をお願い申し上げます。

進学先に関するアンケートの集計結果の説明は、以上でございます。

【金杉台中学校校長】

ここまでで何かご質問等はございますか。

【金杉台中学校 PTA】

すみません。ちょっとここまででということですが、このあと何か質疑応答の時間とかあるのでしょうか。

【金杉台中学校校長】

このあとは検討事項の2に入ります。あと最後に事務連絡や共通理解を図ったほうが良いことなどの諸連絡を予定しております。

【金杉台中学校 PTA】

ここまでのところで、確認したいことです。最初に配付された資料の一番最後「統合方針に基づく統合までのスケジュール」に載っていますが、行政と政治の動きというのはなかなか素人にはわかりづらいところがありまして、統合を決めるまでの間の話し合いの中でも、方針が決定したあとに条例の改正案というのが提出されて、議会のほうでそれが可決されると正式に統合が決まるというお話がありました。ここには載っていないのですが、そちらの進捗というのはいかがなんでしょうか。

【金杉台中学校校長】

事務局、よろしいでしょうか。

【教育総務課長】

今後の政治的な動き、行政的にどのような動きをするかというようなイメージでよろしいでしょうか。

【金杉台中学校 PTA】

はい。条例ですね。

【教育総務課長】

条例ですね。はい。今までのお話の流れとしまして、私どもは教育委員会の事務局員ですから、ある意味、教育委員、教育長のもとで業務を行っている。意志決定は、教育長を議長とした教育委員会ですることとなります。

教育委員会の意志決定といたしましては、昨年3月に教育委員会会議を開催し、教育委員会としても、統合でいこうという判断をさせていただきました。

そのあとに実際に条例を改正となりますが、特に学校につきましては、船橋市にはこういう学校をどこの場所に置くという設置条例がありますが、当然、統合ということになりますと、その条例を改正しなければなりません。議案として議会の承認を得ないと改正することができません。

改正に向けての準備ですが、議案はまだ議会のほうには提出しておりませんが、実際に令和5年4月には統合ということになりますから、その前には議会のほうに条例改正案ということでお諮りをさせていただきまして、そこで条例が可決されたということであれば議会の承認を得たというようなイメージをもっていただければと思います。不足があれば、おっしゃっていただければと思います。

【金杉台中学校 PTA】

それは、もう来年、1年ちょっとのことですが、そこまでには、条例案が出て、滞りなく可決されるであろうということなのではないでしょうか。

【教育総務課長】

滞りなく可決されるかは私もわかりません。ただ実際に、まず教育委員会会議で統合の方針が決定されました。それで恐らくマスコミにも情報が伝わり千葉日報社の記事になっていましたからおわかりになっているかと思うのですが、そのタイミングで議会のほうにもお伝えしていましたが、そういうときに議会のほうから特段大きな反対の声は届いていないということは事実でございます。

それであるとは条例を上げるタイミングですが、こちらは事務局内部のほうで調整もさせていただいておりますが、いずれにいたしましても、実際に統合が始まる前の段階で当然議会のほうには提出しなければいけないと考えております。

【金杉台中学校校長】

よろしいですか。

【金杉台中学校 PTA】

はい、この件に関しては。あとまだ、質問というか、意見があるのでもうちょっとよろしいですか。

【教育総務課長】

アンケートに関してのところはよろしいですか。

【金杉台中学校 PTA】

アンケートに関して、まだちょっと意見がありますので、もう少しよろしいでしょ

うか。

【金杉台中学校校長】

はい。

【金杉台中学校 PTA】

アンケートの内容に関してというか、今回のこの会議の会議録に関してですが、全てを記載した形での会議録の公表は現時点では考えていないということでしたが、これはしていただいたほうがいいかなと思います。なぜなら先ほどお話がありました平成 29 年から検討が始まったということだったんですけど、最初はその検討の議事録も、後々保護者説明会や地域説明会で、かなり場が紛糾したときの求めに応じてようやく出てきたという経緯があります。それまではダイジェストしか出ていなかったもので、こういう場での議事録はできれば全て出していただいたほうがいいと思います。これが 1 点。

もう一つ、このアンケートについての感想になってしまいますが、特に金杉台小学校の中で進路先を迷っている方の不安感はどうしてもあると思います。というのが、結局ここに至るまでの経緯です。統合に向けての検討が始まり、1 回だけ保護者説明会がありまして、その後 3 回(※教育総務課補足：実際には 4 回)地域説明会があったと思うのですが、その中で、教育委員会はずっと単学級が何年も続く状況が教育環境として好ましくないということをおっしゃり、最終的には全面に押し出されてきたんですが、その根拠というのが最後までわからなかった。実際に金杉台中学校で何が問題になっているかと言ったら、最後に、恐らく文教委員会で、議員さんにそれを聞かれた際に、教育次長(※教育総務課補足：実際には学校教育部長)が現時点では特に問題が起こっておりませんとおっしゃっていた。そういう話になってしまうと、説明会に来ていた親は、だいたい統合されたくないから説明会に行っていた方が多かったので、その場ではそういう意見が多く、その中での回答が結局根拠のないものだったのかというと、あれだけの時間を費やして不信感ができてしまっているの、そのあとのアンケートなので、どうしても「このアンケートを取って何の意味があるんだ。」、「話を聞くような顔をして結局何も回答はないじゃないか。」という感情が多くなるのはもっともだろうなと思っています。感想になってしまうので、以上です。

【金杉台中学校校長】

では 2 番目は感想ということで、一つ目の会議録の公開についての要望ですが、こちらのほう、事務局お願いします。

【教育総務課長】

この会議自体の位置付けとしては、お気持ちはわかるのですが、前提として統合に向けてやっていきたいと思いますという、前を向いたというか、言葉はちょっと語弊

もありますけれども、統合に向けて話し合いをしていきたいと思いますという、その内部の意思決定といった目的になっています。要するに、内部の意思決定を決めていく過程の話です。

ですので、私もちょっと不勉強で申し訳ないのですが、確か前提としては非公開となっていたかと思います。ただ、実際何も公開しないというのはそれこそ不信感につながりますので、今の段階では回答は持ち帰りということで、よろしいでしょうか。概要は伝えるけど、一言一句ちゃんと伝えてほしいということですよ。

【金杉台中学校 PTA】

そういうことになりますと、出席者全員の了解というのが必要となりますので、この場で決定ができないというのはわかります。

【教育総務課長】

ですので、ご意見に対して、快い回答ができるかわかりませんが、お話のほうは承りました。

【金杉台中学校校長】

はい。それでは教育総務課のほうで一旦預かって検討するというところでよろしいですか。

【金杉台中学校 PTA】

はい。

【金杉台中学校校長】

ほかに何かご質問等はございますか。それでは次に進みます。

次第の「2.検討事項(2)今年度の統合準備会の検討事項について」に入ります。事務局から説明をお願いします。

【教育総務課長】

教育総務課から、引き続き説明させていただきます。

資料は、資料3、「令和3年度の統合準備会の検討事項について」と、資料4「統合方針に基づく統合までのスケジュール」となります。まず資料3により今年度の統合準備会の検討事項についてご説明いたします。

統合準備会は、統合までの間(令和3・4年度)に金杉台中学校に入学する生徒に係る諸課題について、検討・調整を行い、スムーズな統合を目指すことを目的としています。

先ほどご説明いたしました進学先に関するアンケートの結果では、令和4年度、金杉台中学校に進学を希望している方がおりますので、統合準備会として各学校、学校

間での検討・調整事項に取り組んでいくことといたします。基本的には、前回までの統合準備会で共有してまいりました課題について引き続き整理していくこととなりますが、その内容について、担当している所管課のほうから説明いたします。

【指導課長】

令和4年度に金杉台中学校に入学を考慮しておられる方が、アンケートの結果から今の現段階ということで見えてきている中で、また進路については悩んでいる状況であるということを見ていくにつけ、恐らく小学校の子供たちの保護者の方々がこの先迎えるであろう状況に、非常に不安を抱えながら悩まれているんだろうなと感じております。

その中でも、私どもが所管している保健体育課以外の授業・学校行事などについて考えられる心配事として、金杉台中学校で1年間学習した子たちがその翌年度、学校を変えて、授業に参加する、行事に参加する際に、どのようなことを考えられるだろうか、私のほうでも、各教科の指導主事というのがありますので、いろいろ聞き取りを行ってまいりました。

基本的には学習内容については、学習指導要領というものが定められておりますので、これは金杉台中学校、御滝中学校に関わらず、1年生ではこの教科はこんな内容を学習しましょう、ということが定められております。おおむね1年間が終わった段階で、まるで違った状況で2年生を迎えることはないというのが前提だと思います。しかしながら、教科の特性によっては、例えば社会科をとっても、その中の扱う分野、歴史分野、地理的分野、3年間かけてどのようなスケジュール感を持って進めていくのか。これはやはりある一定部分までは指導する教員に委ねられています。そういうことを考えたときには、その必要最低限の教育内容についても、年度が始まる頃、年度途中で御滝中学校、金杉台中学校の双方の先生方の連携が非常に重要になってくるかなと思います。それで1年後には、同じ内容で学習するということがわかっているわけですので、それを常に意識した形で指導を進めることは重要じゃないかなと思います。

それと教科書に付随する副教材というものがございます。これについても、全般的な教材については1年間完結のものが多いのでそれほど大きな支障はないのですが、例えば、国語とかその他の教科で利用する資料集で3年間利用というのが前提となっているものがあります。国語でも文法の教科書はそういうものがあり、漢字もそうだとということで、先ほどお話したように、年度初めの段階で教材選定については、お互いに理解をしながら選んでいく必要があるだろうと思っております。

そのほかの教科についても、技能教科については扱う内容等が、やはり単純に知識の習得だけになっていけませんので、どのような内容を取り扱っていくかは相互に情報交換していく必要があるかと思っております。

もう一方で、授業以外の行事云々については、言葉では、両校の交流を積極的に行うと言ってしまえばいかにもできそうな感じがするのですが、今、このアンケートを

見ただけの状況では、金杉台中学校入学を希望するお子さん一人一人がどのようなお子さんなのか、どのような考えを持っているか、そういう配慮をなくして、一方的に交流活動をやればいだろう、というものではないと思います。特に大事なものは、入学してくる子供たち一人一人との対話を重ねながら、どのようなことが求められているのか。そして、中学生という発達段階ですので、こちらが全てルールを敷いてこういうことをすれば仲良くできるよ、というようなことから一歩進んで、子供たちがどんなことをしてみたいのか、どんなことが不安なのか。それによって学校同士で連携をとりながらそれを実現していく。まだ子供たちが見えていませんので、実際に子供たちと対面したときにはそんな取組が必要になるかな、と今の段階では考えております。以上です。

【保健体育課長】

保健体育課からは、部活動についてご説明させていただきたいと思います。

今やっている部活動、これが統合後はどういうふう子供たちが実施していくかということ、不安のある中で、今の段階で交流というものをうまくしていけばなんとかスムーズに子供たちが部活動を実施していけるようになるのではないかとということでしたが、まず、今年度、金杉台中学校に入学した生徒が0人であったため、今年度は交流を目的とした部活動の合同実施は計画しておりませんが、両校で調整の上、可能な部活動については、合同練習など実施していきたいと考えております。

また、令和4年度、金杉台中学校と御滝中学校の入学者が交流できるよう、部活動の合同実施の準備を進めることといたします。

それと、統合後の金杉台中学校の運動施設の体育館、運動場、武道室、これを土日及び長期休業中などに、御滝中学校の部活動で使用することを教育委員会と御滝中学校で検討しています。今年度はその試行と課題整理をしてまいりたいと思います。ただ、統合後の跡地活用方法によっては、実現できない場合も出てくるかもしれませんので、その辺を踏まえながら、本年度課題などを整理していきたいと考えております。

【教育総務課長】

その他諸課題としまして、PTA組織、保護者をご負担していただきます学校費等、統合後の学校評議員を挙げております。昨年度から調整が必要な課題ととらえております。こちらにつきましては、関係者間で引き続き準備を進めていただければと考えております。

次に、「2.統合に向けた進行管理」といたしまして、教育委員会にて、両校の協力をいただきながら、進行管理を行ってまいります。

主な諸課題として、金杉台中学校及び御滝中学校の生徒数・学級数に応じた課題への対応、統合時に金杉台中学校から御滝中学校に引き継ぐ文書や備品等の対応、統合の影響を受ける生徒や保護者への相談等の支援などが考えられますが、原則としては教育委員会が中心となり、進めさせていただき、この統合準備会で必要に応じて情報

共有等を図っていくこととさせていただければと考えております。

以上の統合準備会での取組、また、教育委員会での進行管理に関しましては、資料4に概略をスケジュールとしてまとめております。

表の左側、上から、参考として学校行事、それから、統合準備会、学校、児童生徒・保護者、教育委員会のそれぞれの取組内容などを令和3年度、4年度の時期を左から右に読むような形で落とし込んでいます。

まず、統合準備会ですが、本日、第4回目を開催させていただいておりますが、次回に向けて、学校間での検討・調整についてその間進めていただき、11月頃に課題や調整事項について検討するため、統合準備会を開催したいと考えております。その際、来年度の入学希望の意向調査等の報告をいたします。

そのあと、入学見込みのわかる2月頃、今年度の検討状況と次年度の検討事項の確認を行うため、再度統合準備会の開催を予定しています。

続きまして、学校の部分ですが、整理することがたくさんあり、先生方には申し訳ないのですが、主に金杉台中学校と御滝中学校の両校を中心に調整をさせていただければと考えております。

続いて児童生徒・保護者の部分ですが、ここでは現在の小学校6年生の児童に関わることを特記していますが、関係する小中学校の在校生・保護者の皆様には、統合準備会の開催後、統合準備会たよりを昨年度も発行しておりますが、そちらを発行いたしまして内容を引き続きお伝えする予定です。そういった中で、疑問やご意見等を随時事務局の教育総務課にて受け付け、対応させていただく所存です。

最後に教育委員会の部分です。先ほどのお話と重複してしまいましたが、統合に関わる条例・規則の改正と、統合後の跡地活用についても進めてまいります。進捗がありましたら、この場でも情報共有させていただく予定です。今年度の統合準備会の検討事項についての説明は、以上でございます。

最後に、前回の統合準備会は書面会議とさせていただき、一堂に会する機会は、昨年8月以来となります。また年度も改まりましたことから、皆様から、この場で共有すべきことなどございましたら、今年度の検討事項に関しての議論などと併せて、お願いしたいと思うのですが、会長いかがでしょうか。

【金杉台中学校校長】

「(2)今年度の統合準備会の検討事項について」のご意見、ご質問、また、今ありました皆様からこの場で、共有すべきことなど、何かございましたらお願いします。

【金杉台中学校教務主任】

昨年度から準備をしていた中で3点ほどお聞きします。まず1点目、部活動の(3)で、今年度、御滝中学校さんが本校を利用し、試行と課題整理ということで、その試行というのがどのような形でいつ頃から、総体が終わってから始まるとか、その辺のことをもうちょっと詳しくお聞きしたいです。

2点目は、閉校後の学校の状態というものが、イメージはなかなかできなくて、昨年度からも現時点で捨てられるものとか、次の学校で使えるものとか、そういった整理分類をしているのですが、例えば図書室の本はどうだとか、個別でお聞きしていると思うのです。そういった細かい備品等の扱いや処理。部室を整理していても、部活でまだ使えそうなものは、例えば野球部はもうないのですが、ピッチングマシンがありまして、これを昨年お世話になった学校に譲ってもいいものか。ちょっと大きいものなので。そういった備品に関する細かい具体的な計画が出てくるのかというのが一つです。

最後は教育課程の調整等というところで、私、教務が初めてで、多分教育課程の調整というのは我々が中心になっていくと思うのですが、その中で、これをやってくださいというチェックリストみたいなものがないと漏れが起きそうで怖いのです。

そういった3点について、まとまらないのですがお聞きしたいです。

【金杉台中学校校長】

部活動のことについては、子供たちの気持ちもあって、難しいところもあると思うのですが、両校で相談しながらやっていこうと、御滝中学校の校長とは話し合っているところですが、保健体育課のほうで、何か付け足すことがあればお願いします。

【保健体育課長】

今、校長先生からあったように、ちょっとデリケートな部分も含んでいると思います。また部活動を実施するにあたってのマニュアルの問題とかもありまして、試行と課題整理という点については、これから御滝中学校の校長先生と試行方法についても検討を踏まえながら実施していかなければいけない部分があると思います。我々のほうから具体的にこうというふうなことではなくて、ここはやはり学校の状況を確認しながら今後進めていきたいということで、こちらに関しても進捗状況がありましたら、お伝えしながら、また金杉台中学校の状況もお聞きしながら、その試行を計画していきたいと考えております。

【金杉台中学校校長】

ありがとうございます。

【御滝中学校校長】

はい。いろいろとご説明ありがとうございました。今、話がありました心配されること、これからあと2年間でどうやっていくのかということとは本当に挙げていくときりがない。正直見えないところもあるんですね。

実は昨年度も今年度も金杉台中学校の校長先生と、例えば部活動の話が出ましたけれども、何かできることがないかということで、いろいろと相談しながらやっています。

あと、先ほど教育課程の話がありましたけれども、例えば今現在、金杉台中学校が使っている副教材はどういうものなのか、御滝中学校で使っている副教材はどういうものなのか。それを共有しながら、来年度どうするかとか。そういうことを一つ一つ実際に活動している私たちだからわかりやすいとか見えてくる部分があると思うので、お互いに共有しながら、連絡を取りながらやっていくことが大切なのかなと、いうふうには思っています。また、連携できたらと思いますので、よろしく願いいたします。

【教育総務課長】

2番目の備品の整理とか、統合に向けていろいろな物品等の取扱をどうしたらいいかというお話ですけれど、これを実際やっていく中で正直様々な課題が出てくると思っています。それは私も想像はできます。ただ難しいのは金杉台中学校では現にお子さんがその学校で生活をしている。その中で片付けをどんどんやっていくというのはなかなか難しい。ちょっとそういう矛盾はあります。恐らくイメージですけれども、先生方は大変御苦労されるかと思うのですが、学校生活を当然優先させていく中で極力生徒さんに刺激を与えないような感じでちょっとずつ頭を整理してものを整理し、その中でいろんな課題が出てくると思っています。これはどうしようというのを、当然その学校間での調整も必要になりますが、教育委員会事務局も積極的に併走支援させていただきたいと考えています。

例えば図書が余ってしまった。一部の本は持っていくけれども、この本は重複しているからどうするかという問題がある。あとは部活動のものに関しましても、持っていく先があるものと、ほかの学校に転用するもの、処分してしまうものに整理しなければいけない。そういったものについては、上手く表現しづらいですが、ちょっとずつ今の段階から準備をしていき、学校が春休みになったタイミングとか、あとは冬休みぐらいのタイミングで整理するのかなと。ただやはり備品というのは多岐にわたりますから、それについてはこちらのほうでも事務局各課を総括していますので、実際に移転するにあたっては、どういったことをやらなければいけないのか、それを私も自分の仕事として整理しています。例えば理科室のものだったら、こういうものがあるってどうするのか、技術関係のものだとどういうものがあるのか、家庭科だとどういうものがあるのか、事務室だとどういうものがあるのか、整理しておりますので、その辺のチェックリストを一緒に作らせていただいて確認をし、漏れのないように今後進めさせていただければと思います。

いずれにいたしましても、学校のほうに足しげく通わせていただきまして、いろいろ調整をさせていただければと考えております。2点目は以上でよろしいでしょうか。

【金杉台中学校校長】

2点目はよろしいですか。では3点目の教育課程ですが、指導課、よろしいですか。

【指導課長】

はい。先ほど御滝中学校の校長のほうでお話いただいたことに尽きるとは思うんですけども、必要最低限、年間指導計画ですとか、評価の計画。そういったことについては事前には共有しておく必要があると思われま。ただ、どんどん時期が進んでいくと適宜いろんな問題が出てくると思います。定期テストがあったら、どのように実施するのか、評価はどのようにつけていくのか。本当にこれは教育委員会どうこうというより、両校の先生方の綿密な連携によるところも大きいのかなと思います。

今、全てのチェックリストを作るといのは難しいのですが、そんなことを考えております。

【金杉台中学校校長】

よろしいですか。

はい。両校でも話し合っていきますので、ご指導よろしく願いいたします。

ほかに何かございましたら、お願いいたします。よろしいでしょうか。ありがとうございました。では次に進みます。

次第の「検討事項(3)その他」ということですが、各学校、PTAの皆様から連絡事項などはございますか。

【御滝中学校校長】

はい。連絡事項というわけではないのですが、今日、資料2、それから資料3のご説明を受けて、私のほうで思いとか、学校の状況とかを踏まえて少しだけお話しさせていただければと思います。

アンケートに、「生徒数が多くなり目が届かないのでは。」という声が多く見られます。これはもっともなことだと思います。御滝中学校の今年度の1年生に入学した生徒・保護者の中にもそのような不安を持っている方がいるだろうと思いますし、できれば金杉台中学校に入学したかったというご家庭もあると思います。

そのような不安を少しでも解消できるように御滝中学校では先ほどの教育委員会のほうからもご説明していただいたんですけども、もちろん生徒が少なければ、先生が一人一人を見る時間は、物理的、時間的にはかけやすいですよね。

ただし、先生方の思いは、少ない人数であろうが多い人数であろうが、一人一人を大切にすることは何ら変わりがないです。そのように私は本校の先生方を見ていても思っています。先ほどの説明にもありましたけれども、多くの先生方で、生徒一人一人をよく見て声をかけ、そういう多くの目があるということは、子供たちの変化にも気付きやすいだろうし、いろいろな視点から子供たちを捉えることもできるだろうと私たちは思っていて、全教職員で共通理解をして教育活動を進めています。

今年度からは中学校でも学習指導要領が新しくなりました。学習指導要領の内容に沿うと今年度からは生徒一人一人が自分の考えをしっかりと持つこと。そして考えたことを自分たちで話し合うこと。そして課題の解決に向かっていくこと。そういうよう

なことが必要になってくる。ですから本校では、これまで以上にグループ活動とか話し合い活動とかを多く取り入れて、多くの生徒で意見交換をしながら多様な考え方や解き方を学んでいくということを工夫してやっているところです。

あと部活動については、本校は19の部活があり、非常に多い。人数が多いですから、部活も多いです。顧問は2人から3人で顧問をしていますので、それぞれの部で熱心に活動していて学校としてはやはり活気があるという状況はあると思います。

先ほどもお話があったんですけども、例えば部活動で金杉台中学校の生徒と活動を共にする機会があれば、金杉台中学校の生徒と交流を図る、そういうことだけじゃなくて、金杉台中学校の生徒への刺激になるかもしれないですし、先ほどからも出てるように、あくまでも子供の様子、その子の実態、子供同士の関わり、その辺の実態にあった活動・交流ができるようにしていかなければならないとは思っています。

また、金杉台中学校の武道室とか体育館の施設利用についてですけども、それも含めてより良い活用ができるように検討させてもらえたら大変ありがたいと思います。

【金杉台中学校校長】

すいません。進行を仰せつかっているのですが、金杉台中学校の校長としても一言お話をさせていただきたいのですがよろしいでしょうか。ありがとうございます。今、御滝中学校校長からあったように部活動については前々から両校の子供たちの気持ちをまず第一に、どうやったらやっていけるのかということ相談しております。子供たち一人一人の気持ちはプライバシーもあるので詳しくはお話できないのですが、聞き取り調査をしたり、大会の応援のときの様子を見たりして、いろいろ話し合っているところです。

あと、大人数に馴染めるかということで、もし来年度入学してくれるお子さんがいて統合されるのであれば、そのお子さんたちについても、母数が少ないですけども、なるべく学年合同で今もそうですけどやっていたりするものがあったので、御滝中学校とも何らかの連携を図っていきたいなど。あるいは統合に向けて一人一人のお子さんについて、不安はないのかとか、カウンセリング等も務めていければと考えています。

なかなかお子さんたちの気持ちもあることで、両校の校長だけで話し合っただけでは先に進まないこともあるのですけれども、校長として赴任したときから、お子様や保護者の皆さん、地域の方々に訴え続けているのは、地域と母校に対して愛着と誇りを持ってほしい。この金杉台中学校で良かったと言ってもらえるように職員が一丸となって、子供に寄り添って、統合に向けての準備を進めよう。というところであります。皆様のお力が必要です。ぜひお知恵を拝借して統合に向けて準備を進めていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。以上です。

ほかに何かございますか。

では、最後に、事務局の教育総務課から事務連絡等がありますか。

【教育総務課長】

長きにわたりましてありがとうございました。次回の会議の日程については冒頭でお話させていただきましたが、11月頃、お時間は午前中に、開催することを予定しております。正式な日程、正式な出席依頼は別途学校宛てにお送りさせていただきます。PTAの皆様へは学校を通じてお送りさせていただく予定です。

次回の検討事項は、各学校・学校間での検討・調整事項の進捗報告がメインのお話になるかと思えます。

また繰り返しになりますが、新型コロナウイルス感染症がこの先終息してくればよいのですが、不透明な部分もございます。緊急事態宣言発出などになってしまった場合は、昨年度のように、書面開催による場合も否めない状況であることはご承知おきいただければと思います。

最後に、本日の検討内容を「統合準備会たより」第5号としてまとめ、関係校の児童生徒に配付させていただきますので、よろしく申し上げます。以上でございます。

【金杉台中学校校長】

ありがとうございました。最後に何かご質問等はございますか。

それでは、以上をもちまして、第4回船橋市立金杉台中学校・御滝中学校統合準備会を閉会いたします。お疲れ様でした。